

伝染病一覧 (その1)

ウイルス

疾患名	感染源	排出経路	感染経路	潜伏期	症状	予防法
麻疹	人	咽頭分泌物	飛沫感染	10日	結膜炎、コブリーク斑 全身発疹	予防接種、 γグロブリン
風疹	人	咽頭分泌物	飛沫感染	14-21日	発疹、リンパ腫増大、 先天性風疹症候群	予防接種
痘	人	咽頭分泌物 膿汁	飛沫感染、接触感染	10-13日	痘疹、発熱	検査、予防接種、 隔離、消毒
インフルエンザ	人	咽頭分泌物	飛沫感染	1-3日	発熱、咳、筋痛、 疲労感	予防接種、 マスク着用
ポリオ	人	糞便、 咽頭分泌物	水系・食物感染、 飛沫感染	7-21日	頭痛、麻痺、 項部強直	予防接種、隔離、 消毒
伝染性下痢症	人	糞便	水系・食物感染	2-3日	水様性下痢	消毒
ラッサ熱	鼠、人	鼠の尿	直接、間接接触感染	1-2週	発熱、咳、腹痛、 下痢、リンパ腫増大 出血疹	隔離、消毒
狂犬病	犬、狐 コウモリ	唾液	直接接触感染 (犬の咬傷)	2-6週	発熱、麻痺、 嚥下困難、痙攣	犬の予防接種、 野犬撲滅
日本脳炎	豚、蚊	血液	節足動物媒介感染	5-14日	頭痛、高熱、痙攣、 意識障害	予防接種、蚊駆除
黄熱	人、猿	血液	節足動物媒介感染	3-6日	高熱、皮下結膜出血 黄疸	検査、予防接種、 蚊駆除

クラミジア

第四性病	人	病巣分泌物	直接、間接接触感染	5-21日	発熱、 鼠径リンパ腫増大	性教育 不潔な性交を回避
トラコーマ	人	病巣分泌物	直接、間接接触感染	5-12日	結膜のろ病性増殖、 パンマス	早期治療、 洗面用具共用禁止

リケッチア

発疹チフス	人、鼠	鼠の糞	節足動物媒介感染	5-14日	高熱、頭痛、筋痛、 発疹	予防接種、鼠駆除
恙虫病	鼠、 赤虫	血液	節足動物媒介感染	8-11日	高熱、発疹、 刺口潰瘍	野鼠駆除、 ゴム靴着用

疾患名	感染源	排出経路	感染経路	潜伏期	症状	予防法
コレラ	人	糞便、吐物	食物感染、水系感染 動物媒介感染(ハエ)	1~4日	米のとぎ汁様下痢 嘔吐、脱水症、 体温低下	検疫、隔離、 接触者監視、 予防接種 なま物の熟食回避
赤痢	人、猿	糞便	食物感染、水系感染 動物媒介感染(ハエ)	2~7日	腹痛、下痢、粘血便 発熱	隔離、消毒、 食器衛生管理 上水道管理
腸チフス	人	糞便、尿	食物感染、水系感染 動物媒介感染(ハエ)	7~14日	高熱、脾腫、 血便、ばら疹 ビダール反応	隔離、消毒、 上水道管理 予防接種
パラチフス	人	糞便、尿	同上	2~3日	高熱、下痢、血便	同上
しょう紅熱	人	咽頭分泌物、 唾液	飛沫感染、接触感染	2~5日	発熱、鮮紅色発疹 いちご舌	隔離、消毒
ジフテリア	人	咽頭分泌物、 膿汁	飛沫感染、接触感染	2~5日	咽頭偽膜、 呼吸困難	予防接種、隔離、 消毒
流行性髄膜炎	人	咽頭分泌物	飛沫感染	2~10日	発熱、頭痛、嘔吐、 脳膜刺激症状	隔離、消毒
ペスト	鼠、人	血液、膿	節足動物媒介感染 飛沫感染	2~7日	高熱、リンパ腺腫 出血性肺炎	検疫、予防接種 鼠駆除
百日咳	人 ノミ、人	上気道分泌物	飛沫感染	5~10日	痙攣性咳嗽	予防接種 登校禁止
破傷風	土壌		直接接触感染(創傷)	4~21日	咬傷部腫 項部強直、痙攣	予防接種、 抗毒素血清
炭疽	牛、馬、 豚	病獣の糞便、 蔵肉	間接接触感染、 食物感染	2~3日	皮膚膿疱・浮腫、 下痢	家畜予防接種、 病獣焼却、消毒
淋病	人	病巣分泌物	直接、間接接触感染	3~9日	尿道炎、副こう丸炎 卵管炎	性教育 不潔な性交を回避
軟性下疳	人	病巣分泌物	直接接触感染	3~5日	壊死性潰瘍、 有痛膿汗	同上
結核	人	肺	飛沫・塵埃感染、 接触感染	4~6週	発熱、咳、体重減少 咯血、胸痛	予防接種、 定期健診、強制入所
らい	人	病巣分泌物	不明	数年	皮膚斑紋 皮膚結節、知覚異常	強制入所

スピロヘータ

梅毒	人	病巣分泌物	直接接触感染、 経胎盤感染	3週	硬性下疳、発疹、 ゴム腫、脳梅毒	性教育、 不潔な性交回避
回帰熱	人、鼠	血液	節足動物媒介感染	3~10日	弛張熱、 高熱の反覆	隔離、鼠の駆除

原虫・寄生虫

マラリア	人、蚊	血液	節足動物媒介感染	9~17日	発熱、脾腫、貧血	蚊駆除
フィラリア症	人、蚊	血液	節足動物媒介感染	3ヶ月	発熱、乳び尿、 こう丸炎、象皮病	患者の集団治療、 蚊駆除
日本住血吸虫症	犬、豚、 牛、馬、人	糞便	経皮感染(汚染水)	1~2週	貧血、発熱、下痢 肝硬変	宮入員撲滅、 ゴム靴着用

寄生虫症一覽

	宿主 (排出経路)	感染経路	生活環境	症状	予防対策
回虫症 (線虫類)	ヒト 糞便より虫卵検出	野菜に付着し経口感染	卵経口投入→卵成体→腸内寄生産卵 腸内ふ化 腸壁侵入→筋→気管	一過性同虫性肺炎 腹痛、神経症状 好酸球増多 特異性インテックス 音嚥、胆管に侵入	適切な屎家処理 集卵検査、集卵 治療、野菜の洗 滌、野菜の加熱 調理、手洗い・論行
鉤虫症 (線虫類)	ヒト 糞便より虫卵検出	野菜に付着し経口感染 経皮感染	幼虫経皮侵入 外界でふ化 幼虫経口投入 産卵 管→咽頭・食道→腸寄生	思まけという皮膚炎 一過性肺炎、若菜病 低色素性貧血 好酸球増多 胃腸障害、異味症 スプーン様爪	適切な屎家処理 集卵検査、集卵 治療、野菜の洗 滌・加熱調理、 作業時ゴム手袋 ゴム靴使用
東洋毛様線虫 (線虫類)	ヒト 糞便内より虫卵検出	経口感染 経皮感染	同上	腹痛、下痢 貧血、神経症状	鉤虫症に準ずる
糞線虫症 (線虫類)	ヒト 糞便内に幼虫検出	経皮感染 (自家感染)	同上	痒疹性皮膚炎、一過性肺炎 腹痛、下痢、結核、 腸門静脈に自家感染	
総虫症 (線虫類)	ヒト 糞便より虫卵検出 肛門周囲に成虫	経口感染 (自家感染)	卵経口投入 腸管内寄生 腸門静脈に自家感染	肛門周囲腫脹 虫垂炎、痔瘻 貧血、下痢、結核、 腸門静脈に自家感染	集卵検査、集卵 治療、手洗い・論行 肛門器具の清潔
顎口虫症 (線虫類)	第1中間宿主：ケンミンコ 第2中間宿主：ライ魚 終宿主：イヌ、ネコ、トラ	ライ魚の生食による経口感染	ケンミンコ→ライ魚→ヒト ミジンコ→小魚→大、鰻 虫卵	皮下の特異性腫瘍 好酸球増多	ライ魚の生食を 禁止
アニサキス症 (線虫類)	第1中間宿主：オキアミ 第2中間宿主：サバ、イカ、アジ 終宿主：イルカ、クジラ	イカ、サバアジの生食による経口感染	オキアミ→イカ、サバ、アジ→ヒト 虫卵→イルカ、クジラ	腹痛、悪心、嘔吐 胃腸炎等種 小腸潰瘍	生魚の生食を 禁止
広歯裂頭条虫 (条虫類)	第1中間宿主：ケンミンコ 第2中間宿主：マス、サケ 終宿主：ヒト(糞便中に虫卵)	マスの生食による感染 経口	ケンミンコ→マス、サケ 虫卵→ヒト	腹痛、栄養不良 悪性貧血、神経障害	マスの生食を禁 止
有鉤条虫症 (条虫類)	中間宿主：ブタ 終宿主：ヒト(糞便中に虫卵)	ブタ肉の生食による経口感染	ブタ→ヒト 虫卵	胃腸症状、下痢、便秘 好酸球増多、人有鉤 条虫症(脳、眼、心筋)	豚肉の生食を禁 止、患者の完全 治療
無鉤条虫症 (条虫類)	中間宿主：ウシ 終宿主：ヒト(糞便中に虫卵)	牛肉の生食による経口感染	ウシ→ヒト 虫卵	腹部不快感、腹痛、便 秘、下痢、神経症状 好酸球増多	牛肉の検査 牛肉の生食を禁 止
多包条虫症 (条虫類)	中間宿主：ノネズミ 終宿主：キツネ、イヌ、ネコ	経口感染	ネズミ→キツネ 虫卵→ヒト	疝、腸の囊包形成	イヌ、ネコに注 意
単包条虫症 (条虫類)	中間宿主：ウシ、ヒツジ、ヤギ、ブタ 終宿主：イヌ	経口感染	ウシ、ヒツジ、ヤギ、ブタ→イヌ 虫卵→ヒト	疝、骨、骨などに 囊包形成	イヌに注意
肺線虫症 (吸虫類)	第1中間宿主：カタツムリ 第2中間宿主：サワガニ、モクズガニ、ザリガニ 終宿主：ヒト、イヌ、ネコ、ブタ(糞便中に虫卵)	サワガニ、モクズガニ、ザリガニの生食による経口感染	カタツムリ→サワガニ、モクズガニ、ザリガニ 虫卵→イヌ、ネコ、ブタ、ヒト	肺に線虫生虫囊をつ くる、咳、肺色枯 淡、痰濁、痰熱	サワガニ、モク ズガニ、ザリガニ などの生食を禁 ずる
肝吸虫症 (吸虫類)	第1中間宿主：マナナシ 第2中間宿主：モロコ、フナ、コイ 終宿主：ヒト、イヌ、ネコ(糞便中に虫卵)	モナコ、フナ、コイの生食による経口感染	マナナシ→モロコ、コイ、フナ 虫卵→イヌ、ネコ、ヒト	肝腫、肝炎、消化不良 発熱、腹部不快感、 食慾不振、化膿性胆道 炎、高熱、貧血、低血糖	モロコ、コイ、フ ナの生食を禁 ずる
日本住血吸虫症 (吸虫類)	中間宿主：ミヤイリガイ 終宿主：ヒト、イヌ、ネコ、ウシ、ウマ、ブタ、ネズミ(糞便中に虫卵)	セルカリアの経皮感染	ミヤイリガイ→セルカリア 虫卵→犬、猫、牛、鼠、人など	痒疹性の皮膚炎 発熱、倦怠、肝腫大 脾腫、貧血、脱水	畜入貝の採集 汚染地域では作 業時ゴム靴、ゴ ム手袋を着用

	腸チフス	パラチフス	赤痢	食中毒	コレラ	ボリオ	腺ベスト	発疹熱	発疹チフス	回帰熱	日本脳炎	マラリア	デング熱	黄熱	糸状虫病	ツツガ虫病	野兔病
ハ	エ	+	+	+	+	+											
ア	ブ														(+)		鷹バエ+
ノ	ミ						+	+									
シ	ラ	ミ							+	+							兎シラミ+
カ											+	+	+	+	+		
ツツガ虫																+	
ダ	ニ									(+)							+

(+)は海外の病種

(野辺地慶三：新感染症予防概説，光生館，1976)

表72-3. わが国に発生のみられる主な人畜共通疾患

疾病名	病原体	感染動物	ヒトへの主な感染経路
炭疽	細菌	牛, 豚, 馬, 羊	病畜との接触, 汚染した毛, 肉, 皮など (経皮, 経口, 経気道)
豚丹毒	"	豚	感染豚の肉, 毛, 皮との接触 (経皮)
結核	"	牛, 豚, サル	牛乳の飲用, 感染肉の摂取, 感染動物との接触 (経口, 経気道)
ブルセラ病	"	牛	牛乳の飲用, 病牛との接触 (経口, 経皮)
溶連菌病	"	牛	牛乳の飲用 (経口)
野兔病	"	野兔, 畑リス	感染家兎との接触 (経皮)
鼠咬症	"	ネズミ	ネズミの咬傷 (経皮)
サルモネラ症	"	ネズミなど(牛, 豚)	ネズミに汚染された食品, 感染肉 (経口)
レプトスピラ症	"	イヌ, 牛, 豚, ネズミ	罹患動物と接触, 汚染土壌, 水 (経皮)
日本脳炎	ウイルス	豚, 馬	蚊の刺咬
狂犬病	"	イヌ, キツネ	イヌの咬傷 (経皮)
オウム病	"	小鳥, 山羊, 牛, 綿羊	罹患動物と接触 (経気道)
トキソプラズマ病	原虫	羊, イヌ, ウサギ, ネコ	生肉の食用, 病畜との接触 (経口, 経皮)
条虫症	蠕虫	豚, 牛	生肉の食用
吸虫症	"	牛, 綿羊	汚染水の飲用, セリ, ミョウガなどの生食